平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月１日

上場会社名　　ダイトエレクトロン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7609　　ＵＲＬ　http://www.daitron.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）前　績行
問合せ先責任者　（役職名）上席執行役員　管理本部長　（氏名）福嶋　圭一　　ＴＥＬ　（06）6399-5041

四半期報告書提出予定日　平成25年８月14日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	17,191	△7.9	△25	－	33	△90.1	0	△99.6
24年12月期第２四半期	18,666	△13.9	284	△66.8	337	△60.9	154	△78.7

（注）包括利益　25年12月期第２四半期　183百万円（△9.6%）　24年12月期第２四半期　203百万円（△70.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	0.06	－
24年12月期第２四半期	13.99	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第２四半期	25,084	11,579	46.1	1,042.40
24年12月期	23,622	11,525	48.8	1,032.90

（参考）自己資本　25年12月期第２四半期　11,575百万円　24年12月期　11,521百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	0.00	－	10.00	10.00
25年12月期	－	0.00			
25年12月期（予想）			－	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.6	520	50.4	500	7.1	270	47.7	24.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　有
④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	11,155,979株	24年12月期	11,155,979株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	51,139株	24年12月期	1,119株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	11,115,344株	24年12月期２Ｑ	11,036,043株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年８月７日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する決算説明資料に関しては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下における金融緩和・財政政策等に対する期待感により、為替市場における円高の修正や株式市場における株価の上昇など景気回復の兆しが見え始めましたが、長引く欧州債務問題、新興国経済の成長の鈍化による世界経済の減速等の不安要素は解消されておらず、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、上記のような経済環境を受け、自動車関連や再生可能エネルギー関連等の一部の分野では景気の回復傾向が見え始めましたが、全般的には設備投資の抑制傾向が継続しており、本格的な景気回復には至っておらず、大変厳しい状況にて推移いたしました。

このような状況下、当社グループの業績につきましては、主要な市場であります産業用機械・設備市場において需要の低迷が続いている影響を受けて、特に利益面においては前年同期の実績を大幅に下回りました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は17,191百万円（前年同期比7.9％減）、営業損失は25百万円（前年同期は284百万円の営業利益）、経常利益は33百万円（前年同期比90.1％減）、四半期純利益は0百万円（前年同期比99.6％減）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

当社は、平成25年１月１日付にて、当社の製造装置（電子材料製造装置）の製造を行っているＥＭ事業部を当社の国内子会社であるダイトロンテクノロジー株式会社へ、また電子機器及び部品（電源機器）の製造を行っている電源事業部を当社の国内子会社であるダイトデンソー株式会社へ事業譲渡いたしました。

これに伴い、第１四半期連結会計期間より、「製造装置」に含まれておりましたＥＭ事業部及び「電子機器及び部品」に含まれておりました電源事業部は、いずれも「国内子会社」へ報告セグメントの区分を変更しております。

なお、各セグメントの前年同期比較については、前年同期の実績を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。

電子機器及び部品

当セグメントにつきましては、主要な市場であります産業用機械・設備市場における企業の生産調整、在庫調整の影響を受けるなか、「電源機器」のスイッチング電源や無停電電源装置、「画像関連機器・部品」のＣＣＤカメラやレンズ・照明等が堅調に推移し、当セグメントの業績を牽引いたしました。しかしながら、主力商品である「電子部品＆アセンブリ商品」のコネクタやハーネス、「半導体」のＡＳＳＰ（特定用途向け汎用ＩＣ）を含むその他の商品群につきましては、企業の生産活動の停滞や価格競争の激化による利益率の低下等の影響を大きく受けて低迷し、セグメント全体の業績は、売上は前年同期の実績を同等程度確保したものの、利益については前年同期の実績を大きく下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は10,700百万円（前年同期比3.1％増）、セグメント利益（営業利益）は61百万円（前年同期比77.1％減）となりました。

製造装置

当セグメントにつきましては、「光デバイス製造装置」のＬＥＤ検査装置等の商品群は、概ね好調に推移いたしました。しかしながら、「フラットパネルディスプレイ製造装置」及び「エネルギーデバイス製造装置」の太陽電池製造装置等の商品群につきましては、中国をはじめとする新興国における経済成長の鈍化等による先行き不透明感の高まりを受けて設備投資の抑制傾向が続いており、セグメント全体の業績は前年同期の実績を大きく下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,273百万円（前年同期比42.1％減）、セグメント損失（営業損失）は92百万円（前年同期は148百万円の利益）となりました。

国内子会社

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品事業を行っておりますダイトデンソー株式会社は、産業用機械・設備メーカー等の生産活動の低迷の影響を受けつつも、底堅く推移いたしました。しかしながら、ダイトロンテクノロジー株式会社では、耐水・耐圧コネクタ等の高機能コネクタ事業及び電子材料製造装置事業は底堅く推移したものの、半導体製造装置や光デバイス製造装置等の製造装置事業は設備投資抑制の影響を大きく受け、非常に厳しい状況にて推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,143百万円（前年同期比4.1％減）、セグメント損失（営業損失）は13百万円（前年同期は129百万円の利益）となりました。

海外子会社

当セグメントにつきましては、欧州の景気停滞、アジア地域における設備投資や生産の縮小、価格競争の激化による利益率の低下等により、業績は厳しい状況にて推移いたしました。そのような状況において、北米市場を対象に事業を行っておりますダイトロン,INC.の鉄道車両用ハーネス事業の収益が大幅に伸長したこと、韓国、東アジア市場を対象に事業を行っておりますダイトロン（韓国）CO.,LTD.の画像機器販売での収益が改善したことが当セグメントの業績に大きく貢献したため、セグメント全体の業績は前年同期の実績を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,074百万円（前年同期比44.1%増）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は19,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,453百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が308百万円、電子記録債権が349百万円、商品及び製品が297百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,374百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは有形固定資産が79百万円、無形固定資産が54百万円減少し、投資その他の資産が141百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は25,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,461百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は10,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,610百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,031百万円、流動負債その他が629百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が161百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,407百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は11,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が145百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%となり、前連結会計年度末との比較で2.7ポイント低下いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末と比較して148百万円増加し、5,867百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は393百万円の増加（前年同期は891百万円の減少）となりました。主な増加要因は、仕入債務の増加額966百万円、前受金の増加額599百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額591百万円、棚卸資産の増加額291百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は78百万円の減少（前年同期は83百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出74百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は234百万円の減少（前年同期は411百万円の減少）となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出161百万円、配当金の支払額111百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年２月７日に公表いたしました「平成24年12月期決算短信」に記載の内容から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,748,734	5,897,363
受取手形及び売掛金	9,034,816	9,343,183
電子記録債権	487,616	837,185
商品及び製品	1,325,278	1,623,128
仕掛品	918,933	952,113
原材料	170,172	156,743
その他	600,144	901,042
貸倒引当金	△30,269	△1,527
流動資産合計	18,255,427	19,709,233
固定資産		
有形固定資産	3,549,686	3,470,349
無形固定資産	263,460	208,608
投資その他の資産		
その他	1,562,221	1,732,973
貸倒引当金	△8,105	△37,014
投資その他の資産合計	1,554,115	1,695,959
固定資産合計	5,367,262	5,374,916
資産合計	23,622,689	25,084,150
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,367,894	8,399,832
短期借入金	－	100,000
1年内返済予定の長期借入金	322,680	322,680
未払法人税等	245,128	75,787
賞与引当金	21,293	32,194
その他の引当金	44,639	52,595
その他	1,059,170	1,688,170
流動負債合計	9,060,806	10,671,259
固定負債		
長期借入金	1,039,970	878,630
退職給付引当金	1,643,721	1,682,522
資産除去債務	45,458	46,513
その他	307,516	226,191
固定負債合計	3,036,667	2,833,857
負債合計	12,097,473	13,505,116

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,482,896	2,482,896
利益剰余金	6,879,879	6,768,946
自己株式	△1,009	△19,317
株主資本合計	11,562,475	11,433,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,123	241,256
繰延ヘッジ損益	718	△11,567
為替換算調整勘定	△137,466	△87,254
その他の包括利益累計額合計	△40,625	142,433
少数株主持分	3,366	3,366
純資産合計	11,525,216	11,579,033
負債純資産合計	23,622,689	25,084,150

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	18,666,964	17,191,789
売上原価	14,595,207	13,567,977
売上総利益	4,071,757	3,623,811
販売費及び一般管理費	3,787,440	3,649,116
営業利益又は営業損失（△）	284,316	△25,304
営業外収益		
受取利息	3,590	3,365
受取配当金	5,782	6,446
為替差益	17,224	52,218
違約金収入	29,200	－
雑収入	30,506	27,901
営業外収益合計	86,303	89,932
営業外費用		
支払利息	23,653	20,844
手形売却損	3,148	2,366
雑損失	6,395	8,157
営業外費用合計	33,197	31,369
経常利益	337,422	33,258
特別利益		
固定資産売却益	2,127	232
投資有価証券売却益	－	421
特別利益合計	2,127	653
特別損失		
固定資産除売却損	406	347
投資有価証券評価損	168	－
特別損失合計	574	347
税金等調整前四半期純利益	338,974	33,564
法人税、住民税及び事業税	169,908	95,772
法人税等調整額	14,718	△62,823
法人税等合計	184,627	32,948
少数株主損益調整前四半期純利益	154,347	615
四半期純利益	154,347	615

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	154,347	615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,197	145,132
繰延ヘッジ損益	△2,620	△12,286
為替換算調整勘定	5,189	50,212
その他の包括利益合計	48,767	183,058
四半期包括利益	203,114	183,674
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,114	183,674
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	338,974	33,564
減価償却費	177,852	206,736
受取利息及び受取配当金	△9,372	△9,812
支払利息	23,653	20,844
固定資産除売却損益（△は益）	△1,720	114
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△421
投資有価証券評価損益（△は益）	168	－
売上債権の増減額（△は増加）	△420,075	△591,547
たな卸資産の増減額（△は増加）	19,581	△291,569
前渡金の増減額（△は増加）	441,628	△285,742
仕入債務の増減額（△は減少）	△408,818	966,548
前受金の増減額（△は減少）	△938,022	599,416
引当金の増減額（△は減少）	91,338	56,865
その他	4,371	△35,965
小計	△680,441	669,032
利息及び配当金の受取額	9,326	11,026
利息の支払額	△25,373	△21,568
法人税等の支払額	△194,710	△265,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	△891,198	393,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,082	△74,088
有形固定資産の売却による収入	4,779	731
投資有価証券の取得による支出	△9,746	△9,989
投資有価証券の売却による収入	－	10,115
その他	△1,351	△5,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,400	△78,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△26,831	100,000
長期借入金の返済による支出	△190,596	△161,340
自己株式の売却による収入	28,253	－
配当金の支払額	△164,995	△111,133
その他	△57,215	△61,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411,385	△234,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,143	67,934
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,377,841	148,628
現金及び現金同等物の期首残高	7,294,920	5,718,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,917,079	5,867,363

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	電子機器及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,382,750	5,652,321	1,192,280	1,439,612	18,666,964	－	18,666,964
セグメント間の内部売上高又は振替高	509,527	43,184	1,819,896	83,580	2,456,189	△2,456,189	－
計	10,892,278	5,695,505	3,012,176	1,523,192	21,123,153	△2,456,189	18,666,964
セグメント利益又は損失（△）	266,808	148,072	129,346	△35,612	508,614	△224,298	284,316

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△224,298千円には、セグメント間取引消去33,761千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,059千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	電子機器及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,700,647	3,273,191	1,143,001	2,074,948	17,191,789	－	17,191,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	538,059	426,561	1,957,894	37,653	2,960,169	△2,960,169	－
計	11,238,707	3,699,753	3,100,895	2,112,602	20,151,958	△2,960,169	17,191,789
セグメント利益又は損失（△）	61,144	△92,104	△13,731	53,305	8,614	△33,919	△25,304

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△33,919千円には、セグメント間取引消去36,377千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年１月１日付にて、当社の製造装置（電子材料製造装置）の製造を行っているＥＭ事業部を当社の国内子会社であるダイトロンテクノロジー株式会社へ、また電子機器及び部品（電源機器）の製造を行っている電源事業部を当社の国内子会社であるダイトデンソー株式会社へ事業譲渡いたしました。

これに伴い、第１四半期連結会計期間より、「製造装置」に含まれておりましたＥＭ事業部及び「電子機器及び部品」に含まれておりました電源事業部は、いずれも「国内子会社」へ報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、事業譲渡後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。